

吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト

～大規模氾濫被害の最小化に向けた、より水害に強いまちづくりの実践～

○令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した鳴瀬川水系吉田川において、国、県、市町が連携し、「吉田川・新たな水害に強いプロジェクト」として取りまとめました。

○国、県、市町が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、より水害に強いまちづくりを目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けたさらなる取り組みの推進【ソフト施策】

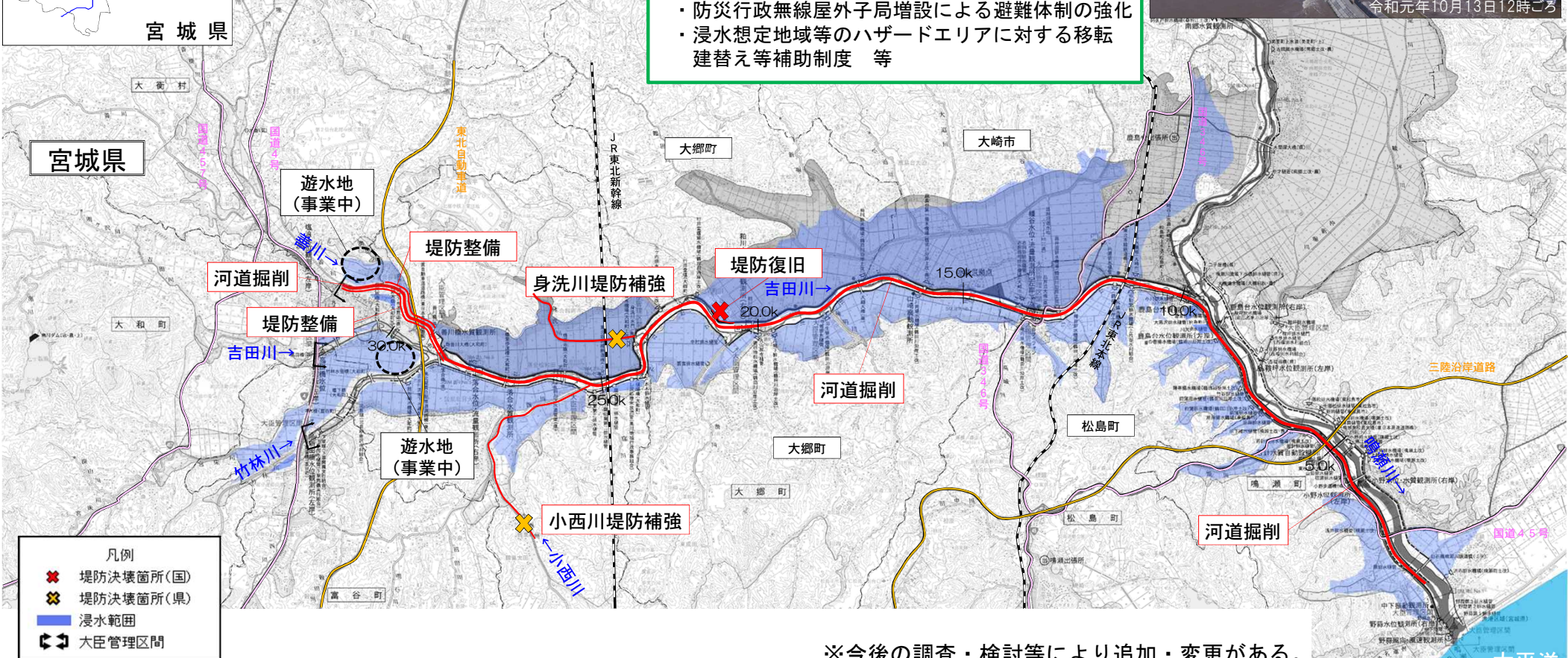
【位置図】



河川における対策（治水安全度向上）	
全体事業費	約267億円
災害復旧	約26億円
改良復旧	約241億円
事業期間	令和元年度～令和6年度
目標	台風第19号洪水における本川からの越水防止
対策内容	河道掘削、堤防整備等

流域における対策	
・	水防災拠点の拡張、増設
・	内水対策（雨水貯留施設・調整池・排水路整備）
・	避難、復旧道路の嵩上げ
・	排水機場の非浸水化 等

ソフト施策	
・	地区別ハザードマップ等の作成
・	要配慮者サポーターの育成
・	防災行政無線屋外子局増設による避難体制の強化
・	浸水想定地域等のハザードエリアに対する移転建替え等補助制度 等



凡例	
✖	堤防決壊箇所(国)
✖	堤防決壊箇所(県)
■	浸水範囲
↔	大臣管理区間

※今後の調査・検討等により追加・変更がある。